

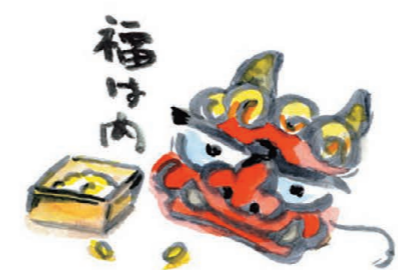
2017年2月1日発行

HONGO PRESS 07 ...2017.Feb



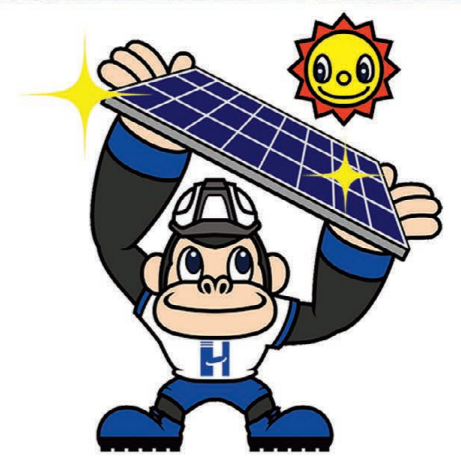
2017年 飛躍を願い

伏見稲荷大社 伊勢神宮へ



四日は現場代理人が勢ぞろいし、京都・伏見稲荷大社に参拝しました。新人の影山淳一現場代理人も参加。当日、影山代理人の長女・碧海ちゃんが元気に生まれました。本当におめでたい新年のスタートとなりました。

五日は従業員の家族も参加して、大型バスに乗って伊勢神宮へとお参りしました。神前では本郷ファミリー全員で厳かな気持ちで新年の安全と幸せ、みんなの活躍、会社の発展をお祈りしました。



😊 今年も笑顔コンテスト 😊

3-12月に実施

本郷工業では2017年も「笑顔コンテスト」を実施します。同コンテストの意義は、私たちの事業に関係する人たちの暮らしと、私たちの仕事が「幸せに」リンクできているかを確認するためのコンテストです。いかなる工事もお客様や、現場のご近所の住人のみな様との信頼関係の構築が必要です。その「信頼関係」を確認するのが、この笑顔コンテストの目的です。今年も多く笑顔と絆を広げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

実施期間：2017年3月から12月まで。



昨年の笑顔コンテスト優勝の田中現場代理人

有限会社本郷工業
 [草津施工管理本部] 〒520-0058 滋賀県草津市野路東 6-3-4 プレジオ 3 1F
 TEL.077-566-8200 FAX.077-566-2234
 [近江八幡営業所] 〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町 206-23 プレジオ 5 5F
 TEL.0748-43-2117 FAX.0748-43-2118
 MAIL.hongo@pop.biwako.ne.jp HP.www.hongou-i.jp



入社は奇跡的な出会い

最短十か月で現場代理人に昇格



現場代理人
影山淳一 (28歳)

本郷工業の現場代理人制度は、50項目の評価基準がある。基準をクリアできた者が現場代理人に昇格する。土木経験者でも普通は入社後一年以上かかる。過去最短の入社十ヶ月、しかも未経験者が達成した。昨年十月に昇格した影山淳一だ。「頑張った者をきちんと評価する」(本郷智也社長)という方針の中、影山が過ごした十ヶ月を聞いた。

現場代理人になれば...

「人生で一番充実していた十ヶ月でした」。迷いなく影山は言い切った。故郷熊本で水道設備会社に三年、その後、農業に携わった。妻の故郷滋賀に移住し、2016年一月、縁あって本郷工業に入社した。土木工事に素人同然の影山には「チャレンジ雇用」として一定の給与保証がされた。家族がいる。安心した。しかし、会社が影山に示したのは現場代理人の年棒制度。

☆☆☆☆の明確な昇格階段だった。「意欲をかき立てられた。現場代理人になれば...



本郷社長(左)から紺ジャケットを送られた影山(中央)。祝福する田坪(右)

二日分のお金と時間の教訓

影山は毎朝七時二十分、草津南笠の資材置き場に行く。打合せを終え、八時前に工事現場へ。本社に戻るの午後六時。写真管理や次の現場の見積もりなど、事務仕事をこなす。入社後、本郷工業で一番厳しいと言われる池田仁一現場代理人の下で経験を積んだ。池田は手取り足取り教えない。「自分で考えろ」と突き放す。「失敗の連続でした」と影山。入社二か月目、忘れら

スリースター制度

本郷工業の現場代理人には☆の数による三つのランク付けがあり、社内における役割も給与も大きく違う。☆(ワンスター)、☆☆(ツースター)と階段を上り、☆☆☆(スリースター)は現場代理人のトップ。全現場代理人の目標であり、模範となっている。

強い絆の中で、みるみる成長

失敗は一度だけではない。高価な精密機械を壊したこともあつ

た。考えて出した見積もりに、お客様から「七割高い！」と突っ返されたこともあった。そのたびに会社が、上司が、仲間がサポートしてくれていた。山と海に囲まれた天草の田舎で育った。小学校の同級生は八人だけ。六年間一クラスで育った。「絆が強い中で育った。本郷工業も社員間の絆が強いのがいい」。入社後の十ヶ月を「お金をもらいながら毎日勉強させてもらっていた。会社が私に投資している状況だった。一日も早く現場代理人になって返したかった」と振り返った。

会社のビジョン、達成する一翼に

「更地を造り、そこからまた造り上げていくのが楽しい」。何もかも未経験だった影山に、現場工事は発見の連続だった。

新しい家族と描く未来

本郷工業に入社したことを「奇跡的な出会い」と言う。再生可能エネルギー事業への参入など、入社した一年前よりも会社は大きく発展している。「十年後、現場代理人を百人に」。会社のビジョンは明確だ。「会社の目標は達成できると信じています。現場代理人になった以上、責任は重大です」。その一翼を担う覚悟だ。

今年一月四日、影山家に新しい家族が誕生した。待望の娘・碧海ちゃんだ。「こんなこと考えたこともなかったんですが、家族が増えた今、新車のファミリーカーがほしいし、30歳までには家もほしい」と目を細めた。会社の成長と家族の成長が、自身の未来でリンクしている。



家族からのメッセージ

妻・亜紗子さん



本郷工業に入社してから、更にしつかりしたと思います。いつも「早く代理人にならないと」と言っていたのですが、まさか十ヶ月でなれるとは思っていませんでした。家族感謝祭で現場代理人のジャケット授与式の彼をみて、本当に頑張ったんだなと感動しました。娘が生まれてからは、家事を手伝ってくれます。これからは頑張ってくださいね。

The key person for Junichi Kageyama



池田仁一 (42)
現場代理人

朝遅刻しない。仕事の段取りも自ら取り組んでいた。言ったことは夜通しになってもやっていた。この十ヶ月、私や周囲からの信用を積み上げていた。そばで見ている「早く代理人になりたい」という強い意気込みを、常に感じていました。でも、まだ自分のことで精いっぱい。利益を出せる現場代理人にならないといけない。人を育てるツースターの代理人へと成長して欲しい。

NEXT PRESS

☆☆の現場代理人として活躍する山中裕行さん(44)。ぜひ、次号をお楽しみに!

HONGO PRESS とは

「人こそ会社の財産、文化、未来」これは弊社の信念です。縁あって弊社で働いている社員ひとり一人の姿、人となりをみな様に紹介することは、弊社の姿をみな様に知っていただくことと同じです。その役割をこのプレスは担っています。

筆者紹介:住田崇(すみだ たかし)
元京都新聞記者。
民泊管理運営代行・WEB制作会社
スタートレック代表。京都市在住。